

2025年論文式公開模試
財務会計論
訂正のご案内

平素はLEC公認会計士講座をご利用頂き、誠に有難うございます。

2025年 論文式公開模試 (EA/B25813) 「財務会計論」に、訂正事項がございましたので、お知らせ致します。

教材作成上の不備により訂正事項が生じましたことを、心よりお詫び申し上げます。今後改善に努めてまいりますので受講生の皆様におかれましては、何卒ご了承頂けますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

論文式公開模試 財務会計論 解説 (EU25382)

P16/59 第4問 **問題2** **問1**

【誤】

(2) 7点

企業が期待するサービスと等価のストック・オプションが付与されると考えられるが、等価性の判断の前提は付与日におけるストック・オプションの価値である。また、付与日以後のストック・オプションの公正な評価単価の変動はサービスの価値と直接的な関係を有していない。そのため、付与日における公正な評価単価により株式報酬費用を計算することとなり、公正な評価単価の変動により、(1)における株式報酬費用の金額は変動しない。

【正】

(2) 7点

条件変更日の公正な評価単価が変動していた場合で、条件変更日の公正な評価単価が付与日の公正な評価単価を上回る場合、ストック・オプションの公正な評価額の増加額につき、追加的に費用計上を行うため、株式報酬費用の金額は変動する。他方、条件変更日の公正な評価単価が付与日の公正な評価単価以下の場合、条件変更日以後においても、条件変更前から行われてきた、費用計上を継続するため、株式報酬費用の金額は変動しない。